

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 野村 義雄
 幹事 深見 章
 会報委員長 北野 寿三郎

No. 33

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 R I 会長 チャールズ.C.ケラー

第277回例会 昭和63年3月8日(火) 晴

◇ “それでこそロータリー”

◇ 出席報告

会員 56(55)名 出席 44名

出席率 80%

前回 3月1日 (修正出席率)98.18%

◇ ビジター紹介 9名

◇ お誕生日祝福

松居夫人(3/2)

◇ ニコボックス

松居 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。夫人誕生日祝い。

加藤 敏昌君 Speakerを紹介させていただきます。

笹野 義春君 ちょっとおくれます。ごめんなさい。

林 淳三君 結婚記念日祝い。

◇ 深見幹事報告

1. 第260地区松本空港RCより証証状伝達式(5/29)の御案内がきております。参加希望の方は事務局までお申し出下さい。

2. 1988年国際ロータリー年次大会が5/22~25、米国ペンシルバニア州フィラデルフィアで開催されます。参加希望の方は事務局までお申し出下さい。

3. ガバナー・ノミニーよりお手紙をいただいております。1988-89年度国際ロータリーのテーマは「ロータリーに活力を——あなたの活力を」に決まったそうです。

4. ロータリーの友3月号がきておりますので、お帰りにお持ち下さい。

◇ 野村会長挨拶

春とは言え、寒い日々であります。今日も9名のお客をお迎えし例会の持てる事を感じ致します。

日本の産業が発展していく過程では、海外から原材料を輸入し、資金も専入して来たわけですが、先進産業国と異なるのは、労働力

は移入しなかった事だと思います。

どんなに忙しくとも、突貫工事といえども、皆日本人でこなして来ました。

日本の人口の99.5%は日本人である。地球上に3,000の人種が現存するが、国連加盟166ヶ国で平均すると、1ヶ国当り18人種となる様です。

その意味では日本は特異な国家でしょうが、殆んど全部が日本人ですから、働く者同志が同じ言葉で語り、同じ習慣と考え方で行動して来たので、比較的順調に日本経済の成長を実現して来られたのだと思います。

近頃東南亜よりのジャバゆきさんが問題になり、ごく最近では建設、土木現場で働く不法入国者が急増して問題を大きくしています。

人口増加の著しい発展途上国の「労働力供給圧力」が高まっているのでしょう。

外国人労働者の受入れを原則として拒否してきた我国で、就職出来る外国人は「日本人では代替出来ない技術、技能を生かして就職しようとする者」か「日本では充足、養成が困難な熟練労働者」に限られている。例えば語学教師、コック、外国企業の管理職などがあります。

単純労働者の就職は許可していません。

然し乍ら東南亜諸国から、日本に対し人の自由な交流を要求する声は益々大きくなるでしょう。我国が之を拒否しつづければ、世界の大きな反感を買う事になるでしょう。

東南亜諸国の労働者が大量に流入し、独国や仏国の様に150万から200万人もが、長期に滞在して労働化してゆけば、我国の社会は急激に変化をとげるであろうと思われます。

この問題については、外務、労働、法務三省で協議されている様ですが、日本が日本でありつづける為に、先進産業国が移入労働者によって如何なるメリットを受け、如何なる

デメリットを被ったか、そして如何にしてその数を減らし、影響を小さくしようとしているのかという事をよく研究して、間違いない舵とりをして貰いたいものと希望する次第です。

◇講 演

“大腸癌のはなし”

愛知県がんセンター消化器外科部副部長

加藤 知行 先生

(紹介 加藤(敏)君)



近年、日本人成人の死亡原因の第一位を癌(悪性腫瘍)が占めるようになったが、中でも大腸癌は今後大変増加するものと予測されている。従来最も多かった胃癌が減少し、それに変わって大腸癌が増加している原因は、日本人の食生活が米食から肉食を主体とした欧米並の高脂肪、低繊維食に変わったためと言われている。

大腸癌とは大腸すなわち、結腸、直腸、肛門の粘膜から発生した悪性腫瘍を言い、血便、便の通過障害による腹痛と便秘異常、そして「癌のしこり」を触れること、を大腸癌の4大症状という。

大腸癌の治療成績を手術後の5年生存率から見ると、根治手術ができた場合は結腸癌84.1%、直腸癌72.8%と良好である。中でも癌が大腸壁にとどまりそれ以外に転移が見られない内に手術をすれば結腸癌は100%、直腸癌でも90%以上の5年生存率が得られ、大腸癌は早期発見すればほぼ治る癌といえる。一方、癌が完全に取りきれなかった場合には8.6%、全く癌を切除出来なかった場合には1.3%と根治手術ができなかった場合の予後は悪い。大腸癌の予防としては脂肪食を取り過ぎないこと、繊維分を十分摂り、便通を整えること、早期発見のためには、血便を見たら検査を受けること、50歳以降から罹患率が増えるので便潜血検査を受けること、ポリープなどの前癌病変が見つかった場合には医師の指示にしたがって定期検査を受けることが挙げられる。

◇情報抄録より

3月に、決意も新たにポリオ・プラスに献身しよう

1987年11月2日に、ポリオ・プラス・キャンペーンは、米貨1億2,000万ドルの募金目標の半分に到達しました。吉報には違いありませんが、ポリオ・プラスへの支援をゆるめてはなりません。事実、3月はポリオ・プラス月間に指定されているので、今は、私たちが、ポリオ・プラスへの決意を新たにする絶好のときです。キャンペーンの道のりはまだまだ遠いのです。自分たちの役割を必ず果たすようにしましょう。

ロータリーと青少年

「ロータリー・クラブは、当初より、青少年の可能性を伸ばそうとしていました。その中で、多彩な青少年活動を生んできました。全体に共通する目標は二つあります：(1)世界各地の子供たちがハンディを背負わず順調なスタートを切れるようにすること。(2)青少年に機会と試練を与えることによって、また、高度の倫理観を植え付けることによって、幸福で建設的な市民になるよう力を貸すこと。

—ロータリアン必携

青少年のための諸活動の巻より

4月は雑誌月間

チャールズ・ケラー会長は、ロータリーについて学ぶ時間をつくるよう私たちに要請しています。私たちのできる方法の一つは、ロータリアン誌を始めから終わりまで読むことです。雑誌は、私たちの組織、歴史、伝統について貴重な情報を提供してくれます。4月は雑誌月間で、英語版のロータリアン誌、スペイン語版のレビスタ・ロータリアの重要な働きを認識するときです。ロータリアン誌やレビスタ・ロータリアとともにロータリアンに情報を伝えているのは、世界各地に網の目のように張りめぐらされている、20カ国語以上、26種の地域雑誌です。

◇例会変更のお知らせ

名古屋南R C 3/16(水)F.S.M.の為、翠芳園にてPM 6:00より
3/23(水)R A C年次大会参加の為、3/20(日)AM11:00より
名古屋瑞穂R C 3/24(木)R I D 260-276
ローターアクト年次大会参加の為、3/20(日)名古屋サンプラザにてAM 11:00より

◇次回例会(3月15日)

講演 “七宝について”

新工芸評議員

太田 博明 氏 (紹介 佐野君)

◇次々回例会(3月22日)

講演 “18才の海軍2等兵”

会員 菊池 昭元 君